

芦屋市立美術博物館 特別展

# 世界を魅了した

## — 浮世絵名品展

# 青

春信・歌麿の“露草青” 写楽の“藍” 北斎・広重の“ベルリンブルー”

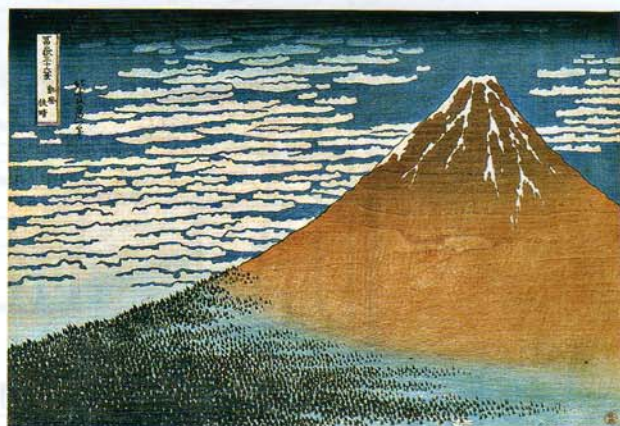
平成25年3月20日(水・祝) — 5月6日(月・振替休日)

- 主催 芦屋市立美術博物館、磯川浮世絵美術館
- 開館時間 午前10時—午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 会場 芦屋市立美術博物館
- 休館日 月曜日 (ただし祝日の場合は翌火曜日休館)
- 観覧料 一般800 (640) 円【前売600円】、大高生500 (400) 円【前売350円】、中学生以下無料  
 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金  
 ※ 高齢者 (65歳以上) および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護の方は各当日料金の半額
- 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、芦屋ユネスコ協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、関西テレビ放送、ラジオ関西
- 同時開催 「片岡家所蔵浮世絵—珠玉のコレクション 風景のなかの『青』」展

春信から歌麿、写楽、  
北斎、広重まで  
天下無双の浮世絵師  
芦屋に集結



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」文政12(1829)年 磯川浮世絵美術館蔵



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」文政12(1829)年 磯川浮世絵美術館蔵



歌川広重「東海道五十三次之内 庄野 白雨」天保6(1835)年頃 磯川浮世絵美術館蔵



# 世界を魅了した「青」—浮世絵名品展

春信・歌麿の“露草青” 写楽の“藍” 北斎・広重の“ベルリンブルー”

江戸時代の日本美術を代表する浮世絵は国内外を問わず、今も多くの人々を魅了してやみません。とりわけ、自らを「画狂人」と称した葛飾北斎の名作、富嶽三十六景「凱風快晴」や「神奈川沖浪裏」は芸術性の高さが評価されています。中でもその色鮮やかな青の彩色は鑑賞者に強い印象を与えます。

「露草青」から「藍」、そして「ベルリンブルー」へと使用される青色絵具の変遷は、浮世絵師にとって芸術性を極める努力の結晶といえます。これまでベルリンブルーが使用される画期については、北斎の作品から紹介される機会がありましたが、本展では特に鈴木春信、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重などの名品から、青色絵具の変遷を一貫してご紹介し、浮世絵の持つ魅力に迫ります。

## 《主な展示品》

- ・鈴木春信 「座敷八景 時計の晩鐘」 明和3(1766)年
- ・喜多川歌麿 「当時三美人 富本豊ひな 難波屋きた 高しまひさ」 寛政5(1793)年
- ・東洲斎写楽 「二世坂東三津五郎の石井源蔵」 寛政6(1794)年
- ・葛飾北斎 「富嶽三十六景 凱風快晴」 文政12(1829)年
- ・葛飾北斎 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」 文政12(1829)年
- ・歌川広重 「東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪」 天保5(1834)年頃
- ・歌川広重 「東海道五十三次之内 庄野 白雨」 天保6(1835)年頃
- ・歌川国芳 「東都名所 大森」 天保2(1831)年

全て礪川浮世絵美術館蔵  
など総展示数約120点 会期中一部展示替え



歌川広重  
「東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪」  
天保5(1834)年頃 礪川浮世絵美術館蔵

## 関連イベント

### オープニング記念展示解説会

日時 3月20日(水・祝) 午前10時30分～  
会場 ホール及び展示室  
定員 100名  
講師 松井英男氏(礪川浮世絵美術館館長)  
参加費 無料(要観覧券チケット)



喜多川歌麿  
「当時三美人 富本豊ひな  
難波屋きた 高しまひさ」  
寛政5(1793)年 礪川浮世絵美術館蔵  
※会期中展示替え



東洲斎写楽  
「大谷徳次の奴袖助」  
寛政6(1794)年 礪川浮世絵美術館蔵

### 学芸員によるギャラリートーク

日時 3月23日(土)  
4月27日(土) 午後2時～  
会場 展示室 参加費 無料(要観覧券チケット)

### 講座

「青の文化史—日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」

日時 4月20日(土) 午後2時～  
会場 講義室  
定員 60名  
講師 当館学芸員  
参加費 無料(要観覧券チケット)

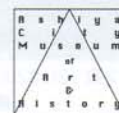


鈴木春信  
「座敷八景 とけひ(時計)の晩鐘」  
明和3(1766)年 礪川浮世絵美術館蔵

### ワークショップ

「多種多様な「青」で描く—喪失と再生の色ブルーに癒されませんか?」

日時 3月31日(日) 午後1時より  
会場 体験学習室  
内容 ポストカードに、ブルーの陰影で静物を描き、あるいは抽象的に色の配置やにじみ、ぼかしを表現します。  
定員 30名  
講師 井上よう子氏(画家/大手前大学・成安造形大学非常勤講師)  
参加費 無料  
※要事前申込  
申込方法 美術博物館へお電話ください。TEL:0797-38-5432  
申込締切日 3月15日(金)※定員に達し次第締切。



芦屋市立美術博物館  
Ashiya City Museum of Art & History  
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
TEL 0797-38-5432 <http://ashiya-museum.jp/>



世界を魅了した

# 青

## 浮世絵 名品展

春信・歌麿の“露草青”

写楽の“藍”

北斎・広重の“ベルリンブルー”



浮世絵の名品  
芦屋に集結！

平成25年**3月20日**〔水・祝〕→**5月6日**〔月・振替休日〕

※会期中、一部展示替え ●前期展示4月14日まで ●後期展示4月16日から

**芦屋市立美術博物館**

開館時間＝午前10時→午後5時〔入館は午後4時30分まで〕

休館日＝月曜日〔ただし祝日の場合は翌火曜日休館〕

主催＝芦屋市立美術博物館、磯川浮世絵美術館 企画協力＝アートシステム

後援＝兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、

芦屋ユネスコ協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、関西テレビ放送、ラジオ関西

〔同時開催〕「片岡家所蔵浮世絵一珠玉のコレクション 風景のなかの『青』展



**芦屋市立美術博物館**

Ashiya City Museum of Art & History

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

TEL 0797-38-5432 <http://ashiya-museum.jp/>

# 世界を魅了した「青」—春信・歌麿の“露草青” 写楽の“藍” 北斎の“ベルリンブルー”

芦屋市立美術博物館

会期:2013年3月20日(水・祝)~5月6日(月・振替休日)

一部展示替えを行います。前期展示(前期)=3月20日~4月14日、後期展示(後期)=4月16日~5月6日

No.	絵具	絵師名	生没年	シリーズ題名	題名	年代・和暦(西暦)	展示替	所蔵先
第1章 初期版画:師宣の墨摺、筆彩の丹絵・紅絵・漆絵、少数色版彩の紅摺絵								
1		菱川 師宣	?-1694	[こうざまわく] 格狭間枠	戯れへのいざない	延宝6年(1678)頃		
2		菱川 師宣		上野花見の躰	姫君観桜の宴	延宝8年(1680)頃		
3		鳥居清信	1664-1729		市川助十郎と桜山四郎三郎	宝永6年(1709)		
4		二代鳥居清倍	1706-1763		新田四天王 二世市川海老蔵の四役	寛延3年(1750)		
5		奥村 政信	1686-1764		ふうがひばちむけんのかねうきえ こんげん 風雅火鉢無間鐘 浮絵根元	元文(1736-40)末頃		
6		西村 重長	?-1756		立って文を読む遊女	享保(1716-35)末頃	前期	
7		近藤 清春	?-?		うたひくに 歌比丘尼	享保(1716-35)後期	後期	
8	藍	石川 豊信	1711-1785		市村亀蔵 中村喜代三	寛延2年-宝暦7年(1749-57)頃	後期	岐阜市歴史博物館所蔵
9	藍	石川 豊信			尾上菊五郎の雲の絶間姫	宝暦1年(1751)		
10	藍	鳥居清広	?-?		ほてい市右衛門 大谷広治	宝暦6年(1756)		
11	露草	石川 豊信			七福神見立宝船	宝暦(1751-63)後期		

No.	絵具	絵師名	生没年	シリーズ題名	題名	年代・和暦(西暦)	展示替	所蔵先
第2章 春信に始まる錦絵には露草青:退色し易い露草青に代り、清長・歌麿は[紅+露草青]の紫								
12	露草	鈴木春信	1725?-1770		うしとままい 丑の時参り	明和2年(1765)	前期	
13	露草	鈴木春信		ざしきはつけい 座敷八景	とけひ(時計)の晩鐘	明和3年(1766)	後期	
14	露草	鈴木春信			見立あり通し	明和(1764-71)後期	前期	岐阜市歴史博物館所蔵
15	露草	勝川 春章	1726-1792		二世中村助五郎	明和5年(1768)		
16	露草	一筆斎 文調	?-?		二世市川雷蔵の若侍	明和7年(1770)頃		
17	紫	磯田湖龍斎	?-?	しきどとりくみ 色道取組十二番	くわ ゆうえん 廓の遊宴	安永5年(1776)頃		
18	紫	北尾重政	1739-1820		三味線を持つ芸者と稽古本を見る芸者	安永5年(1776)頃		
19	露草	歌川 豊春	1735-1814		うきえ 浮絵 アルマニア 珍薬物集之図	安永(1772-80)頃		
20	露草	鳥居清長	1752-1815	ふうぞくふかがわはつけい 風俗深川八景	つくだ らくがん 佃田の落雁	安永6年(1777)頃		
21	紫	鳥居清長		あずまのにしき 風俗東之錦	娘と侍女を連れた武家妻女の外出	天明3年(1783)頃		
22	紫	鳥居清長			あふぎや(扇屋)内にほてる なみぢ あふみ	天明5年(1785)頃		
23	露草	勝川 春潮	?-?	おんなふうぞくごぎょう 女 風俗五形	子女の寺子屋入門に連添う若母	天明(1781-88)末期		
24	露草	勝川 春英	1762-1819		三世大谷鬼次の朝比奈	寛政5年(1793)		
25	露草	葛飾 北斎	1760-1849		しんぼんうきえきんりゆうさんにおうものず 新板浮絵金龍山二王門之図	寛政1-4年(1789-92)頃		
26	露草	北尾政美	1764-1824	うきえかなてほんちゆうしんぐら 浮絵假名手本忠臣蔵	六段目	寛政3-6年(1791-94)頃		
27	露草	喜多川 歌麿	1753-1806		[狂歌絵本] 普賢像 向島の櫻	寛政2年(1790)		
28	露草	喜多川 歌麿			向島の花見	寛政2年(1790)頃		
29	紫	喜多川 歌麿			とうじさんびじん とみもと なにわや 當時三美人 富本豊ひな 難波屋きた	寛政5年(1793)	前期	
30	紫	喜多川 歌麿			高しまひさ	寛政7年(1795)頃	後期	
31	露草	鳥文斎 栄之	1756-1829		松葉屋内 八重菊 かつらぎ	天明8年(1788)		
32	露草	鳥高斎 栄昌	?-?		なかず おうぎやかりたく 中洲の扇屋仮宅	寛政7-8年(1795-96)頃		
33	露草	鳥高斎 栄昌			丁字屋 雛鶴 折菊 美佐山	寛政7-8年(1795-96)頃	前期	岐阜市歴史博物館所蔵



No.	絵具	絵師名	生没年	シリーズ題名	題名	年代(和暦(西暦))	展示替	所蔵先
第3章 写楽に始まる非退色性青のインジゴ藍:文化・文政期へ向け漸増								
34	露草	うたがわとよくに 歌川豊国	1769-1825		やくしゃぶたいのすがたえ 役者舞台之姿絵	やまと屋		寛政6年(1794)
35	露草	とうしゅうさいしやく 東洲斎写楽	?-?			二世坂東三津五郎の石井源蔵		寛政6年(1794)
36	藍	東洲斎写楽			とくじ やっこそですけ 大谷徳次の奴袖助			寛政6年(1794) プライベートコレクション
37	藍	東洲斎写楽			このぞう 中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と 中村此蔵の船宿かな川やの権			寛政6年(1794) 中右コレクシ ョ
38	露草	かつかわしゅんえい 勝川春英			えびぞう ずきんすがた やまがつ 市川鯉蔵の頭巾姿の山賤			寛政7年(1795)
39	藍	うたがわくにまさ 歌川国政	1773-1810			二世坂東三津五郎の眞屋次郎作		寛政8年(1796)
40	藍	くほしゅんまん 窪俊満	1757-1820			[七人女] 官女、官仕、遊女、妓女、かくし 妻、小原女、蟻		寛政(1789-1800) 後期
41	藍	しば こうかん 司馬江漢	1738-1818		しちりがはま 七里濱(鯉を籠に入れる漁師)			寛政(1789-1800) 前期 後期
42	藍	葛飾北斎			きじんかみゆい 貴人髪結			寛政11年(1799) 後期
43	露草	葛飾北斎			すりものふう [摺物風名所絵] 王子			享和1-3年 (1801-03)頃
44	露草・藍	葛飾北斎		假名手本忠臣蔵		四段目		文化3年(1806)
45	露草・藍	歌川豊国				五世松本幸四郎の男芸者折江弥市		文化1年(1804)
46	露草	歌川豊国				新板 尾上栄三郎徒くし		文化5年(1808)頃
47	藍	窪俊満				いせ物語 六十九段		文化9年(1812)
48	露草	きくかわえいざん 菊川英山	1787-1867	とうせいびじんそらい 当世美人揃		ぼんおどりのけしき		文化10年(1813) 頃
49	藍	けいさいえいせん 溪斎英泉	1791-1848	ふうりゅう すがたあわせ 風流 姿合		きちざ ますめあつらえ かのこ 吉三・お七 娘 詠 鹿子		文化12年(1815)
50	露草	かつかわしゅんてい 勝川春亭	1770-1820			いしやましゅうげつ 石山秋月		文化(1804-17)後 期
51	露草	りゅうりゅうきよしんざい 柳々居辰斎	?-?	[らんじわくようふうふうけいが] [蘭字粹洋風風景画]		隅田川		文化(1804-17)後 期
52	露草	しょうてい ぼくじゆ 昇亭 北寿	1763頃- 1824以降			江之嶋七里ヶ浜		文化(1804-17)後 期
53	藍	葛飾北斎			やなぎしま みょうけん ようごう まつ 柳 島 妙見 影向の松			文化11年(1814) 前期
54	藍	柳々居辰斎		牛若十二段		多る井駅		文化14年(1817) 後期
55	藍	うたがわくにまさ 歌川国貞	1786-1864			横蔵 片岡仁左衛門、慈悲蔵 坂東重太 郎、女房おたね 岩井栄三郎		文化14年(1817) 前期
56	藍	歌川国貞				古手屋八郎兵衛 関三十郎、芸者おつ ま 岩井栄三郎		文政3年(1820) 後期

No.	絵具	絵師名	生没年	シリーズ題名	題名	年代(和暦(西暦))	展示替	所蔵先
第4章 藍からベルリンブルー(ペロ)への転換:文政12年に始まる北斎「富嶽三十六景」のペロ導入嚆矢								
57	藍	溪斎英泉		うきよふうぞくみくらべ 浮世風俗美女競	はなをみまたさけをのみえいてふすらつかのしとね 看花復飲酒酔臥落花茵			文政7年(1824)
58	藍	歌川豊国				口紅を塗る花魁		文政6年(1823) 前期
59	藍	うたがわくにまさ 歌川国丸	1793-1829			化粧をおとす美人		文政9年(1826) 後期
60	藍	うたがわくにまさ 歌川国芳	1797-1861	つうぞくすいこでんごうけつひやくは 通俗水滸伝豪傑百八 ちにんのひとり 人之一人	かおしゅうろちしん 花和尚魯知深			文政10年(1827) 頃
61	露草・藍	葛飾北斎		うまつし 馬盡	こまどめいし 駒止石			文政5年(1822)
62	藍	とよ やほつげい 魚屋北溪	1780-1850		かんこくかん もうしやうくん 函谷関 孟嘗君			文政8年(1825)
63	藍	うたがわひろしげ 歌川広重	1797-1858			浅草観世音千二百年開帳 雷神門外之 躰		文政10年(1827) 前期
64	藍	うたがわとよひろ 歌川豊広	1773-1828			三十一一年統 慈悲成吉例朝比奈		文政11年(1828) 後期
65	藍	歌川広重		とうとめいしよじゆつげい 東都名所拾景		日本橋		文政12年(1829) 頃
66	藍	歌川国貞			とうふやおまめ せがわ 瀬川菊之丞、五郎時宗			文政12年(1829) 正月
67	藍	歌川国貞			し かん 中村芝翫、刃澤だん正 松本幸四郎 三田のいさみ綱五郎 坂東三津五郎、 瀬田の関助 関三十郎、鏡の宿の女郎 いばら木 岩井半四郎			文政12年 (1829)11月
68	藍	溪斎英泉				牛若六歌仙 鬼一法眼と喜三太		文政12年(1829)
69	露草・藍	溪斎英泉				し すい とらいしやうのおび 四睡 虎意匠帯の花魁		天保1年(1830) 前期
70	藍	溪斎英泉		せつしやうせきごにちかいたん 殺生石後日怪談		三編(袋)上帙、下帙		天保1年(1830) 後期
71	藍	歌川国貞			くわばら 桑原女之助 市川市十郎、玉屋の与次 沢村源之助、女房おらち 岩井紫若			天保1年(1830)3 月



72	藍	歌川国貞		もうこくりゅうしょうこう つまみょうしょうけいじよ かるく 蒙古國流将公が妻妙昌蛙女 中村歌六	天保1年(1830)6月		
73	藍	歌川国貞		高野山参詣/伊勢参宮 七世市川団十 きちやくこうじょう 郎孺着口上	天保1年(1830)8月		
74	藍・ペロ	二代歌川豊国	1802-?	いまようすがた 今様姿・流行狂画	長吉姉おせ紀 中村歌六、濡髪之長五	天保1年(1830)8月	
75	ペロ	うたがわくにやす 歌川国安	1794-1832	(戯作本袋絵)	郎 尾上菊之丞、放駒の長吉 中村芝 しんべんきんべいばい 新編金瓶梅 第一集之四(初版)	天保2年(1831)	
76	ペロ	歌川国貞			五世瀬川菊之丞と二世沢村源之助	天保2年(1831)	
77	藍・ペロ	葛飾北斎		ふがくさんじゅうろくけい 富嶽三十六景	かながわおきなみうら 神奈川沖浪裏	文政12年(1829)	
78	藍・ペロ	葛飾北斎		富嶽三十六景	かいふうかいせい 凱風快晴	文政12年(1829)	
79	藍・ペロ	葛飾北斎		富嶽三十六景	さんか ばくろ 山下白雨	文政12年(1829)	
80	藍	葛飾北斎		富嶽三十六景	こいし かゆき あした きょうごうずり 磔 川雪ノ旦 (校合摺)	天保2年(1831)頃	
81	藍・ペロ	葛飾北斎		富嶽三十六景	磔川雪ノ旦	天保2年(1831)	

No.	絵具	絵師名	シリーズ題名	題名	年代(和暦(西暦))	展示替	所蔵先
第5章「赤富士」波裏名画の秘密はペロ・藍2色使用:ペロ使用一般化による風景画全盛							
82	藍・ペロ	葛飾北斎	富嶽三十六景	こうしゅういぬめとうげ 甲州犬目峠	天保1年(1830)		
83	藍・ペロ	葛飾北斎	富嶽三十六景	こうしゅうみしまごえ 甲州三嶋越	天保2年(1831)		
84	ペロ	葛飾北斎	しょこくたきめぐ 諸国瀧廻り	美濃/国養老の瀧	天保2年(1831)	前期	岐阜市歴史博物館所蔵
85	ペロ	葛飾北斎	めいきょうきらん 諸国名橋奇覧	あしかがきょうどうさん 足利行道山くものかけはし	天保4年(1833)頃		
86	藍・ペロ	葛飾北斎		あじさい 紫陽花に燕	天保2年(1831)頃		
87	ペロ	溪斎英泉		木曾路/駅 ころど ながらがわうかいふね 河渡 長柄川鵜飼船	天保6-7年 (1835-36)頃	後期	岐阜市歴史博物館所蔵
88	ペロ	溪斎英泉		うんりゅううちかけ 雲龍打掛の花魁	天保2-6年 (1831-35)頃		
89	ペロ	歌川国貞	[役者自筆俳句付]	かんじょうしやう 菅丞相 沢村源之助	天保2年(1831)	前期	
90	ペロ	歌川国貞		せんじやもうで 千社詣 王子稲荷 かつしやう 訥升	天保4年(1833)頃	後期	
91	ペロ	歌川国貞	すずめ 当世江戸寿々女	つま 褌を取る芸者	天保3年(1832)		
92	藍・ペロ	二代歌川豊国	とうとめいしよ 東都名所	両国 中村芝翫	天保2年(1831)頃		
93	ペロ	二代歌川豊国	とうせいむたまがわ 当世六玉川	萩の玉川	天保6年(1835)		
94	ペロ	歌川国芳	ほんちやうすいこでんごうゆうはつ 本朝 水滸伝剛勇八 びやくにんのひとり 百人一個	いぬむらだいがくまさのり 犬村大學礼儀	天保2年(1831)頃		
95	藍・ペロ	歌川国芳	東都名所	大森	天保2年(1831)頃		
96	ペロ	歌川国芳		おうりゅう 応龍	天保(1830-44)中期		
97	ペロ	歌川広重	東都八景(折扇面枠)	まっさきらくがん 真崎落雁	天保1-2年 (1830-31)頃	前期	
98	ペロ	歌川広重	東都名所(一幽斎落 かん 款)	まっさきほしゆんのけい 真崎暮春之景	天保2年(1831)頃	後期	
99	ペロ	歌川広重	はまぐり すみゆく 東都名所(蛤 隅枠)	日本橋之白雨	天保3年(1832)頃		
100	ペロ	歌川広重	東都名所(蛤隅枠)	ひがしきか 神田明神東坂	天保3年(1832)		
101	ペロ	歌川広重		雪中椿に雀	天保3年(1832)頃		
102	ペロ	歌川広重	しきこうとめいしよ 四季江都名所	冬隅田川之雪	天保3年(1832)頃		
103	ペロ	歌川広重	東海道五拾三次之内	かんばら 蒲原 夜之雪	天保5年(1834)頃		
104	ペロ	歌川広重	東海道五拾三次之内	しょうの 庄野 白雨	天保6年(1835)頃		
105	ペロ	歌川広重	おうみはつけいのうち 近江八景之内	ひらのほせつ 比良暮雪	天保6年(1835)頃		



